

サークル紹介

児童文化研究部

私たちは部員19人で活動しています。部の名前から、活動内容がすごくかたいイメージになってしまいがちですが、主な活動内容は、部内で2つのグループに分かれ、公園に行つて子どもと遊んだり、小学校をまわつて人形劇をしたり、子どもと触れ合う場がたくさんあります。また、そのためのいろんな企画を話し合う場も多くあり、活動日は多めですが、部員はみんな仲がよく、楽しく活動しています。部全体で誕生日会やクリスマス会などの依頼を受けたり、お互いのグループの活動に参加したりしています。

子どもの遊び場作り

地域子ども会分科会は、活動の中で主に公園に行つて子どもと遊ぶグループです。部員の内の14人で活動しています。

第1、第3土曜日には、14時から

16時まで新蔵公園であわつこブレイパークを、第2土曜日には、10時から13時まで中鮎喰川橋下の公園であくいがわブレイパークを行つていきます。毎回、部員がゲームを考え、子どもたちと楽しく遊んでいます。最近では、ゲームに加え、鮎喰川の河原を利用して、簡単なアウトドアクッキングにも挑戦しています。

また、春、夏、冬にはブレイパークを少し拡大したイベントも行つていきます。この4月には、春の行事として、新蔵公園にて「しんくらまつり」を行う予定です。

公演を通じて子どもとふれあう

児童文化財分科会は、活動の中で主に人形劇をしているグループです。部員の内の5人で活動しています。

人形劇は、ストーリーも人形も舞台もすべて手作りです。毎週練習に励んでいます。

夏には、小さな小学校を巡回して、その小学校の子どもたちを対

象に人形劇や歌、ゲームを中心とした公演を行っています。

春には、4月上旬に徳島大学でつくしんぼ公演、下旬には辻児童館で公演を行っており、今年も例年通り行う予定です。

年に一度のこどもまつり

年に一度、11月ごろに部員全員で児童文化研究部主催のこどもまつりを行います。2年生の中から実行委員を選出し、実行委員会を中心に企画していきます。



第31回こどもまつりにて、子どもたちが牛乳パックや空き箱などで自由に工作するコーナー

こどもまつりはこれまで、31回続いていく大きなイベントです。

昨年の第31回は、徳島大学常三島

キャンパス内の体育館で行いました。チャレンジ精神をテーマに輪投げや巨大迷路、舞台を使つてのショーなどを企画し、また、他団体にも参加してもらい、コーナーを出していただきました。また、たくさんの子どもの参加があり、楽しんでもらえたと思います。

今年も第32回こどもまつりを開催する予定です。今回のテーマは「こつゆう」。漢字をあてはめると「交友」「交遊」「広友」「好友」などになります。年上も年下も関係なく、年代・世代をこえてたくさんの人たちとふれあい、友達の輪を広げようという意味です。

子どもたちには、こどもまつりを通してたくさんの人とふれあい、友達の輪を広げてほしい、また、私たち部員も参加してくれた子どもたちと友達になれればという思いを込めています。

このテーマに向かって、今から、11月に向けての準備を進めています。